

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 変更日 2023年4月3日（月）ご依頼分より

*細胞性免疫検査項目の報告書変更については、4月3日（月）ご報告分より変更させていただきます。

■ 変更項目

検査項目	腓ホスホリパーゼ A ₂ (腓 PLA ₂)	レニン活性 (PRA) [EIA]
	中性脂肪 (TG)	アルドステロン [CLEIA] /レニン濃度比
	総コレステロール (T-Cho)	アルドステロン [CLEIA] /レニン活性比
	HDL-コレステロール	ムンプスウイルス IgG
	LDL-コレステロール	HTLV-1 核酸検出 定性
	ADAMTS13-活性	HTLV-1 プロウイルス DNA 定性
	ADAMTS13 インヒビター	特異的 IgE (View アレルギー39)
	遊離トリヨードサイロニン (Free T ₃) [CLEIA]	水痘・帯状疱疹ウイルス DNA 定量
	アルドステロン [CLEIA]	ヒトヘルペスウイルス 6 型 DNA 定量
	レニン濃度 (ARC) [CLEIA]	細胞性免疫検査項目



●変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
0401 2	中性脂肪 (TG)	検査方法	変更はありません	酵素法 (GK-GPO・遊離グリセロール消去)	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、JCCLS共用基準範囲の採用、報告範囲の変更
		基準値 (単位)	M 40~234 F 30~117 (mg/dL)	50~149 (mg/dL)	
		報告範囲	3未満、 3~99999999	2未満、 2~99999999	
		報告桁数	変更はありません	有効 8 桁、整数 8 桁、 小数 0 桁	
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 3F015-0000- 023-271	
X419 3	遊離トリヨードサイロニン (Free T ₃) [CLEIA]	検査方法	変更はありません	CLEIA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、検査要項は変更なし、現法と新法との相関について示します
		基準値 (単位)	変更はありません	2.52~4.06 (pg/mL)	
		報告範囲	変更はありません	0.67 未満、 0.67~29.9、 30.0 以上	
		報告桁数	変更はありません	有効 3 桁、整数 2 桁、 小数 2 桁	
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 4B015-0000- 023-052	
5139 5	ムンプスウイルスIgG	検査方法	変更はありません	EIA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、反応性向上
		基準値 (単位)	血清 変更はありません 髄液の基準値を削除	血清 2.0 未満 陰性 判定基準：下記参照 (なし)	
		総合検査 案内欄外 記載	固相法：髄液は測定可能ですが、参考値となります。検体量 0.4mL (冷蔵)	固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL (冷蔵) 基準値 0.20 未満 陰性	
		報告範囲	変更はありません	2.0 未満、2.0~127、 128 以上	
		報告桁数	変更はありません	有効 3 桁、整数 5 桁、 小数 1 桁	
		JLAC10 コード	変更はありません	血清 5F432-1431- 023-023	
0394 0	総コレステロール (T-Cho)	基準値 (単位)	142~248 (mg/dL)	150~219 (mg/dL)	JCCLS共用基準範囲の採用
0203 0	HDL-コレステロール		M38~90 (mg/dL) F48~103 (mg/dL)	M 40~86 (mg/dL) F 40~96 (mg/dL)	
2269 0	LDL-コレステロール		65~163 (mg/dL)	70~139 (mg/dL)	

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
2937 4	ADAMTS13-活性	基準値 (単位)	0.10 以上 (IU/mL) 10 以上 (%)	TTP の判定基準 0.10 未満 (IU/mL) 10 未満 (%)	適切な表記へ 変更
		総合検査 案内備考欄	凝固検体取り扱いにつ いては、容器の取り扱い方 法②ページをご参照くだ さい。 <u>血栓性血小板減少性紫斑 病 (TTP) の判定基準： 0.10 未満 (IU/mL)、 10 未満 (%)</u> <u>参考基準範囲：0.78～ 1.57 IU/mL</u> &1	凝固検体取り扱いにつ いては、容器の取り扱い方 法②ページをご参照 ください。 <u>基準値は血栓性血小 板減少性紫斑病 (TTP) の判定基準です。</u> &1	
2981 8	ADAMTS13 インヒビ ター	基準値 (単位)	0.5 未満 (BU/mL) 陰性	後天性 TTP 基準 0.5 以上 (BU/mL) 陽性	適切な表記へ 変更
		総合検査 案内備考欄	凝固検体取り扱いにつ いては、容器の取り扱い方 法②ページをご参照くだ さい。 <u>後天性血栓性血小 板減少性紫斑病 (TTP) の判定基準：0.5 以上 (BU/mL) 陽性</u> &1	凝固検体取り扱いにつ いては、容器の取り扱い方 法②ページをご参照 ください。 <u>基準値は後天 性血栓性血小板減少性 紫斑病 (TTP) の判定 基準です。</u> &1	
0475 0	腓ホスホリパーゼA ₂ (腓PLA ₂)	総合検査 案内	 マークの追加	—	適切な表記へ 変更
		容器の取り 扱い方法 (血漿の個所)	左図の容器に採血し、よ く混和させ、低温 (4℃) で血漿分離してくださ い。血漿は必ず凍結保存 してください。	左図の容器に採血し、よ く混和させ、血漿分離し てください。血漿は必ず 凍結保存してください。	
6178 1	HTLV-1核酸検出 定性	保存 (安定性)	冷蔵 (14 日)	冷蔵 (3 日)	安定期間表記 の変更
6179 9	HTLV-1プロウイルス DNA 定性				
4609 5	アルドステロン [CLEIA]	総合検査 案内備考欄	下記参照 ※1	記載なし	同時受禁止項 目について記 載を追加
6961 4	レニン濃度 (ARC) [CLEIA]		下記参照 ※2	記載なし	
8029 1	レニン活性 (PRA) [EIA]		下記参照 ※3 &1	&1	
OG06 2	アルドステロン [CLEIA] /レニン濃度比		基準値は、日本内分泌学 会の「原発性アルドステ ロン症診療ガイドライン 2021」によるカットオ フ値です。 下記参照 ※1、2	基準値は、日本内分泌学 会の「原発性アルドステ ロン症診療ガイドライ ン 2021」によるカット オフ値です。	
OE49 9	アルドステロン [CLEIA] /レニン活性比	基準値は、日本内分泌学 会の「原発性アルドステ ロン症診療ガイドライン 2021」によるカットオ フ値です。 下記参照 ※1、3	基準値は、日本内分泌学 会の「原発性アルドステ ロン症診療ガイドライ ン 2021」によるカット オフ値です。		

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
		総合検査案内欄外	※1：「4609 5：アルドステロン〔CLEIA〕」、「OG06 2：アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比」、「OE49 9：アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比」は同時依頼はできません。 ※2：「6961 4：レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕」、「OG06 2：アルドステロン〔CLEIA〕/レニン濃度比」は同時依頼はできません。 ※3：「8029 1：レニン活性(PRA)〔EIA〕」、「OE49 9：アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比」は同時依頼はできません。		
2754 6	水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	総合検査案内掲載箇所	総合検査案内 2022-2023 P58 ウイルス感染症検査	総合検査案内 2022-2023 P196 研究検査	記載内容の見直し
		報告書	基準値記載あり	基準値記載なし	
		基準値	血液(EDTA-2Na加)： 2.0×10^1 未満 (コピー/ 10^6 cells) 髄液： 1.0×10^2 未満(コピー/mL)		
2756 1	ヒトヘルペスウイルス6型DNA定量	総合検査案内掲載箇所	総合検査案内 2022-2023 P61 ウイルス感染症検査	総合検査案内 2022-2023 P196 研究検査	記載内容の見直し
		報告書	基準値記載あり	基準値記載なし	
		基準値	血液(EDTA-2Na加)： 2.0×10^1 未満 (コピー/ 10^6 cells)		
B920 6	特異的IgE (View アレルギー39)	報告内容	アレルギーの並びを変更 (※並び以外の変更はありません)	—	より適切な順番へ変更
—	細胞性免疫検査項目	報告書	白紙用紙に印字	プレプリント用紙	報告書の統一化
			裏面記載なし ※SRL 総合検査案内 (Web版)の各項目の補 足欄にリンクを付けます	裏面記載あり ※報告書の見方につい て記載があります	

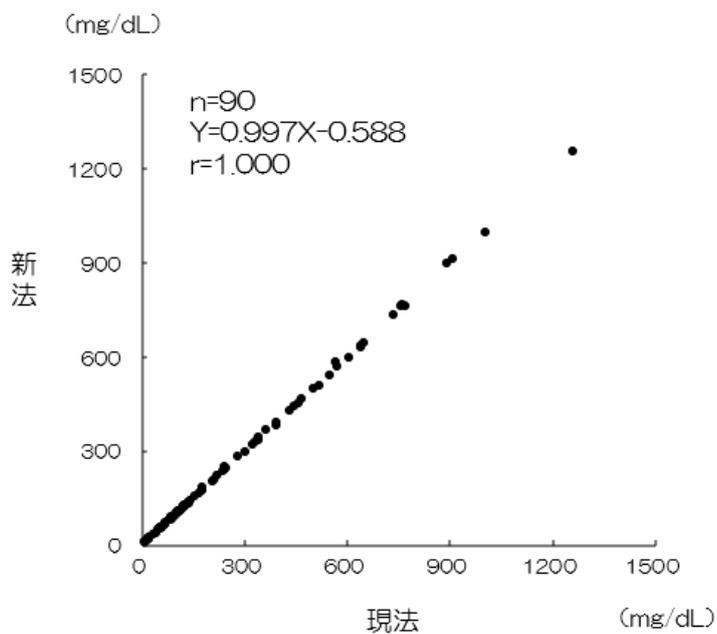
● 中性脂肪 (TG)

測定試薬の販売終了、新試薬販売により測定試薬を変更いたします。これに伴い、基準値（試薬添付文書記載のJCCLS共用基準範囲を採用）、報告範囲を変更させていただきます。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	変更はありません	0401 2
検査方法	変更はありません	酵素法 (GK-GPO・遊離グリセロール消去)
基準値 (単位)	M 40~234、 F 30~117 (mg/dL)	50~149 (mg/dL)
報告範囲	3 未満、3~99999999	2 未満、2~99999999
報告桁数	変更はありません	有効 8 桁、整数 8 桁、小数 0 桁
JLAC10 コード	変更はありません	血清 3F015-0000-023-271

● 相関図



● 参考文献

Tamaoku K et al : Chem Pharm Bull 30 (7) : 2492~2497, 1982.
(検査方法参考文献)

● 遊離トリヨードサイロニン (Free T₃) [CLEIA]

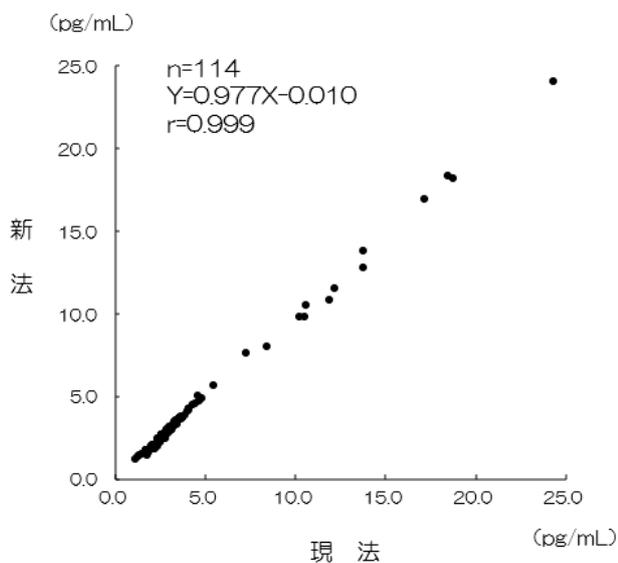
測定試薬の販売終了、新試薬販売により測定試薬を変更いたします。これに伴い、検査要項の変更はありませんが、現法と新法の相関について示します。

▼現法と新法の比較

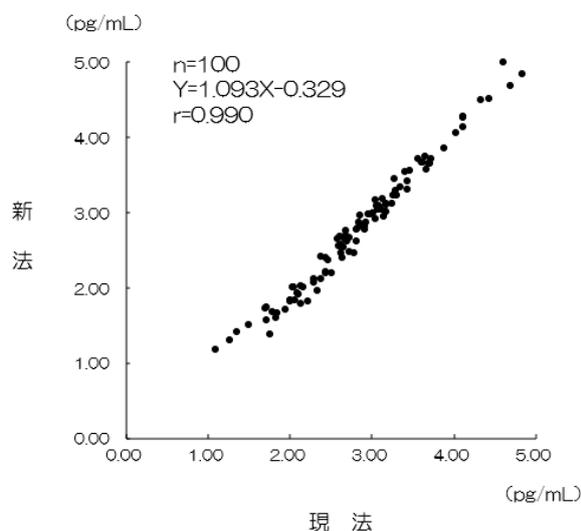
変更内容	新	現
項目コード	変更はありません	X4193
検査方法	変更はありません	CLEIA
基準値 (単位)	変更はありません	2.52~4.06 (pg/mL)
報告範囲	変更はありません	0.67 未満、0.67~29.9、30.0 以上
報告桁数	変更はありません	有効 3 桁、整数 2 桁、小数 2 桁
JLAC10 コード	変更はありません	血清 4B015-0000-023-052

●相関図

【全体】



【低濃度域】



●参考文献

矢野 美沙紀, 他: 医学と薬学 77 (5) : 793~804, 2020. (検査方法参考文献)

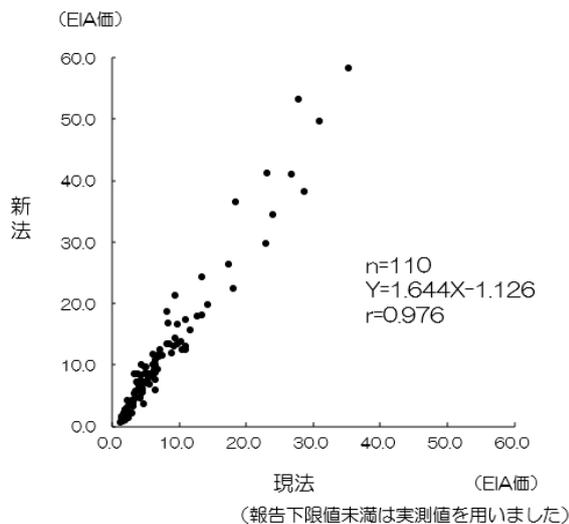
● ムンプスウイルスIgG

測定試薬の販売終了、新試薬販売により測定試薬を変更いたします。新試薬は現試薬と比較して反応性が向上（判定保留の減少）しております。これに伴い、検査方法、代表材料の基準値の変更等はありませんが、髄液について性能検証、基準値の確認が出来ないため、報告書、総合検査案内欄外の髄液記載を削除させていただきます。髄液検体については参考値コメントを付与させていただきます。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード	変更はありません	51395
検査方法	変更はありません	EIA
基準値（単位）	血清 変更はありません ※髄液の基準値を削除 判定基準：変更はありません	血清 2.0未満 陰性 判定基準：総合検査案内参照（なし）
報告範囲	変更はありません	2.0未満、2.0～127、128以上
報告桁数	変更はありません	有効3桁、整数5桁、小数1桁
JLAC10コード	変更はありません	血清 5F432-1431-023-023
総合検査案内欄外記載	固相法：髄液は測定可能ですが、参考値となります。検体量 0.4mL（冷蔵）	固相法：髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL（冷蔵）基準値 0.20未満 陰性

● 相関図



● 相関一致表

		現法		
		(-) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
新法	(-) 2.0未満	8	4	0
	(±) 2.0～3.9	1	15	1
	(+) 4.0以上	0	13	68

一致率：82.7% (n=110)

● 参考文献

尾崎 隆男, 他：臨床とウイルス 50 (3) : 129～133, 2022. (検査方法参考文献)

● 特異的IgE (View アレルギー39)

報告書アレルゲンの出力順位について添付文書の並びになっておりましたが、より適切な並びへ変更させていただきます。

- ① 吸入系アレルゲンが上下で分かれて記載されていましたが、系統別にまとめました
- ② PFAS (花粉・食物アレルギー-症候群) 関連項目をまとめました (【新】赤枠内)

▼現新比較

【新】	【現】
アレルゲン名	アレルゲン名
ヤケヒョウヒダニ	ヤケヒョウヒダニ
ハウスダスト1	ネコ皮膚
ゴキブリ	イヌ皮膚
ガ	卵白
ネコ皮膚	ミルク
イヌ皮膚	小麦
マラセチア (属)	米
アルテルナリア	ゴマ
アスペルギルス	ソバ
カンジダ	ピーナッツ
ハンノキ (属)	大豆
スギ	カニ
ヒノキ	エビ
シラカンバ (属)	豚肉
カモガヤ	牛肉
オオアワガエリ	マグロ
ブタクサ	サケ
ヨモギ	リンゴ
リンゴ	サバ
キウイ	鶏肉
バナナ	キウイ
卵白	バナナ
オボムコイド	オボムコイド
ミルク	カモガヤ
小麦	オオアワガエリ
大豆	ハウスダスト1
米	ゴキブリ
ゴマ	ガ
ソバ	ラテックス
ピーナッツ	アスペルギルス
エビ	カンジダ
カニ	アルテルナリア
マグロ	マラセチア (属)
サケ	ハンノキ (属)
サバ	シラカンバ (属)
鶏肉	スギ
豚肉	ヒノキ
牛肉	ブタクサ
ラテックス	ヨモギ

吸入系
食餌系
真菌系・その他

【新報告書見本】

SRL アレルギー検査報告書

1122-1123 (アレルギー) 600-25-60001-60004

SRLシステム (10) HP 利用 890

加付No カルテNo 0001 性別 男性 76歳 検出医 ナイシヨウノ 先生

材料 血清3456 採取日 11月 22日 科名 小児科 外来

受付日 04年 11月 22日 病棟

報告日 04年 11月 24日 科番号 0000000001

受付No 000001

検査項目	結果	コメント	単位	基準値
非特異的IgE				
アトピー診断試験				
TARC				

アレルゲン名	クラス	結果	コメント	基準値	陰性	陽性
					0	1 2 3 4 5 6
特異的IgE (View 7541-30)				0.00	0	1 2 3 4 5 6
ヤケヒョウヒダニ	0	0.00	PQ	0.00	0	1 2 3 4 5 6
ハウスダスト1	0	0.27未満	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ゴキブリ	1	0.27	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ガ	1	0.49	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ネコ皮膚	2	0.50	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
イヌ皮膚	2	0.95	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
卵白	2	0.96	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ミルク	2	1.36	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
小麦	2	1.37	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
米	2	1.79	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ゴマ	3	1.80	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ソバ	3	4.42	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ピーナッツ	3	4.43	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
大豆	3	7.06	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
カニ	4	7.05	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
エビ	4	12.19	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
豚肉	4	12.20	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
牛肉	4	17.34	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
マグロ	4	17.35	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
サケ	5	23.32	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
リンゴ	5	23.33	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
サバ	5	29.30	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
鶏肉	6	29.31	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
キウイ	6	29.31以上	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
バナナ	0	0.27未満	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
卵白	1	0.27	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
オボムコイド	2	0.50	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ミルク	2	0.96	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
小麦	2	1.37	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
大豆	3	1.80	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
米	3	4.43	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ゴマ	4	7.05	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ソバ	4	12.20	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
ピーナッツ	5	17.35	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
大豆	5	23.33	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
カニ	6	29.31以上	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
エビ	5	25.33	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
豚肉	5	17.35	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
牛肉	5	17.35	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6
マグロ	4	12.20	PQ	0.27	0	1 2 3 4 5 6

今度の検査から検定されるアレルゲンは★印の数です。★印は完了です

コメント: 詳細な反応がみられます
Q12抗体作用がみられます

アレルギー検査センター エス・エル・エル
八王子支店 検査課八王子支店アレルギー検査
検査責任者 和田 小おり